

「モーツァルトの遺骨はどこへ？」

「私のお墓の前で泣かないでください そこにわたしはいません 眠ってなんかいません」

『千の風になって』より

先日、長女がピアノを習っている先生との会話の中で聞いた話です。長女がモーツァルトの曲を練習していたこともあり、モーツァルトの話になったのですが、ウィーンの中央墓地にある彼のお墓の中に実は遺骨は納められていないことを教えて頂きました。偉大な音楽家であるモーツァルトの最後は映画『アマデウス』でも描かれていましたが、ひっそりと町の郊外にある墓地に埋葬され、その後遺骨を探したようですが現在でもまだ見つからないそうです。お墓の前で天使が悲しそうな表情で寄り添っているのが印象的です。

祈祷書の墓の聖別祈祷文に次のような一文があります。「み民のためにみ業の成就を待ち望む休みの所として清めてくださいました。どうかこの墓を清め、ここに葬られる僕らを安らかに憩わせてください。」

私はこの祈祷文に今思いを寄せたいと思いました。もう一つ、心を寄せたいことは遺骨が見つからない方の魂はどうなっているのだろうかということです。魂は平安に憩えているのでしょうか。私たちにはその答えは分かりません。しかし、信じる

ことは出来ます。

モーツァルトの遺骨は今も見つかっていません。そして、私たちの世界には事故、災害、事件で命を失い、行方が分からなくなっている方がたくさんいます。いつの日かご家族のもとへ帰ってきてほしいと心から願います。同時に、冒頭の千の風にのっての詞のように亡くなった方の魂は自由に大切な家族の元で生きている事を信じます。モーツァルトの遺骨は見つかっていませんが、世界中の人々に彼の曲は愛され、心の中で生き続けているのですから。

(司祭 越山哲也)

